

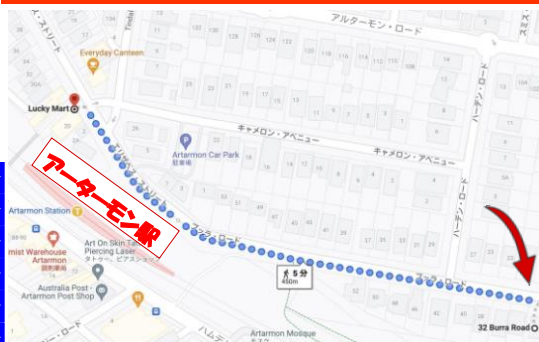
Hongwanji Buddhist Mission of Australia

シドニー本願寺報

32 Burra Road, Artarmon 2064
PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Email : hbma@optusnet.com.au
http://www.hongwanji.com.au



オーストラリア開教事務所 アターモンに移転！



32 Burra Rd Artarmon NSW 2064 が新しい開教事務所の住所で、私書箱は引き続きLindfieldとなります。

今年の7月末にゴードンの開教事務所の賃貸契約が終了したことを受け、新開教事務所を探していましたが、シドニーでのコロナ規制が厳しくなる直前に、アターモン駅近くの物件を見つけ契約し、無事に引っ越しを終えましたので、ここにご報告申し上げます。



新開教事務所

新しい開教事務所はアターモン駅を降りた東側の「リトルジャパン」とも呼ばれる日本の駅前商店街の

(2ページへつづく)



平和と開教事務所の未来のための 2021
Sydney Running Festival will be held by virtual!

シドニーマラソン 今年も
バーチャルでの開催に！

期間：2021年9月19日～10月17日

●9月19日(日)に行われる予定だったシドニーマラソンが、コロナ感染状況が収束しないことを受け、今年もバーチャルにての開催となり、この日から一カ月の間で専用アプリを使い走る事となりました。

●世界平和を祈念し、オーストラリア開教事務所が、将来お寺となるために走るこのイベントへの寄付を受け付けております。

●このイベントに対し、寄付を申し出たいという方は、「Peace Run」と明記された上で、下記口座までご入金をして下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

ご寄付受付先口座(WESTPAC銀行NEUTRAL BAY支店)
ACCOUNT NAME : HONGWANJI BUDDHIST
MISSION OF AUSTRALIA
BSB : 032 197 ACCOUNT No : 48 1501
DESCRIPTION : PEACE RUN



(2ページへつづく)

もくじ

開教事務所移転	1-2
Peace Run 2021	1-2
お寺の予定表	1
チャプレン研修	2
親鸞聖人御誕生 850年&立教開宗 800年慶讃法要	3-4
今月のことば	3
仏教連盟総会	4
祥月の案内	4
ご懇念録	4

★ お寺の予定表 - Calendar ★

Sep 19 (Sun) ~ Oct 17 平和と開教事務所の未来の為のマラソン月間/
Virtual Sydney Marathon for Peace & the future of HBMA

20-26 南半球での春季お彼岸週間 /Spring O-Higan Week

23 (Thu) 彼岸の中日/Ohigan Day Spring Equinox Day

Oct 17 (Sun) 11:00 am 九&十月祥月法要/Sep&Oct Shotsuki Service (延期の際は翌週へ)

24 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service

31 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service

〔本願寺報発行 / New Bulletin Issue〕

Nov 7 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service





『お勤めに使っているお釈迦様、親鸞聖人の経文、お言葉を書き写す「写経」「習字」等の講座を設けたく思っております。ご興味のごさいます方は開教事務所まで是非お問合せ下さいませ』

(本文より)

並びを抜けた所にあるエリザベス・ストリートに右に折れ、道なりにまっすぐ行きますと、緩やかに左に曲がりながら、その道がそのままBurra Rdとなり、その32番が開教事務所となります。駅から400m歩いて5分ほどです。

新しい開教事務所では、ご本尊の設置も無事に終え(写真右)、今はロックダウンが解除されるのを待つのみという状況となっております。

10月中旬に二度のワクチン接種率が人口の7割を超えたところで規制が緩和されるとのニュースを受けてお参りができるようになることと期待しており、とりあえずは、10月17日、或いは24、31日の日曜日にお参りの再開を予定しております。

是非、10月に皆様と新しい開教事務所にていっしょにお勤めができますことを心待ちにしております。

また、新しい試みとして、開教事務所にてお勤めに使っているお釈迦様、親鸞聖人の経文、お言葉を書き写す「写経」、「習字」等の講座を設けたく思っております。ご興味のごさいます方は開教事務所まで是非お問合せ下さいませ。

合 掌

オーストラリア開教事務所 所長 渡部重信



新しい開教事務所のお内陣

のCamperdownにある仏教図書館(Buddhist Library)にて受講する予定でしたが、ロックダウンの影響で、オンラインでの授業となり、自宅にての受講となりました。

様々な医療施設にて起こりうる患者と、訪問者としてのチャプレンの様々な場面ごとのきめ細やかな対処法、話し方、心構え等々について受講者がそれぞれの考えを述べあい、講師の先生がまとめ上げるといった講義の進め方で、最初と最後に当番の受講者が心を落ち着ける瞑想の言葉の担当となったり、自分の経験した心や体に病を持つ人との対処法の場面を書き出し、それをみんなで担当し発表を行い、それについての、臨床宗教者として適切な対応だったのか、仏教的所見、内面の推察、今後の影響、等々について意見を出し合いまとめ上げていくという大変中身の濃い5週間の講義でした。

自分が病院で体験した事、患者に対して対応した事を、このような授業を通して振り返るチャンスを頂けたことを、この講義を勧めて下さった仏教連盟の方に感謝した事でした。

今は、コロナ規制の為、病院巡回のボランティアはできませんが、規制が緩和された暁には、この時の授業で学んだことを実際の場で実践し、これまでとは違った対応ができるよう思ったことでした。

合 掌

「Peace Run」 (1ページより)



(1ページより)

●このイベントに、もし自分も走りたい！参加したい！とおっしゃる方は是非、下記サイトから申込を行って下さい。

<https://www.sydneyrunningfestival.com.au/>

●エントリーには、無料で参加できる、3.5kmの家族ラン、10kmのブリッジラン、21kmのハーフマラソン、そして42kmのフルマラソンと、選択肢がございますので、自分が挑戦するカテゴリーを選んで下さい。ご一緒できますことを心より念願しております。合掌



BLACKMORES



NSW 仏教連盟 (Buddhist Council of NSW)並びに、宗教者臨床精神衛生センター (The Mental Health Clinical Pastoral Education Centre : NSW州臨床宗教者教育機関 (CCPE)登録、シドニー神学部学会所属)共催、オンラインによる、「仏教者のための臨床病院チャプレン40時間研修会」を渡部開教使が受講し修了

7月30日(金)から5週間に渡り毎週金曜日、丸一日を費やして開催された仏教者のための臨床病院チャプレン40時間研修会



上:講師を勤められたニコラ先生 (8月20日)

に渡部開教使が他のNSW州各地からの10人の受講者と共に参加し無事に修了証書を受け取りました。

本来は、シティ



親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃 法要に参拝いたしましょう！

親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要

Joint Celebration
850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)

第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day
親鸞聖人のご命日です ご参拝ください 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺



京都 本願寺

2023(令和5)年は宗祖親鸞聖人のご誕生から850年目にあたります。また、その翌年には親鸞聖人が、『顕浄土真実教行証文類(教行信証)』を著され、浄土真宗のみ教えを開かれた「立教開宗」から800年をお迎えする

年となります。

京都の本願寺では、2023(令和5)年3月から5月に、5期30日間にわたり、その慶讃法要がお勤めされます。

親鸞聖人が浄土真宗のみ教えを説き示してくださったことへの感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、「立教開宗」に感謝する慶讃法要をともに日本の本山にてお勤めさせていただくべく、日本への本山ツアーを計画したいと思っております。このツアーに興味のございます方は、是非、開教事務所までお知らせくださいませ。オーストラリアの皆様と共に、京都の本山参りを行い共に、この一生に一度の御縁に合わせさせて頂きましょう。



親鸞聖人

この法要に際しスローガンが発表されています。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要スローガン

「ご縁を慶び、お念仏とともに」

“Life of Nembutsu enables us to appreciate every encounter”

今回のスローガンに込められた思いとは？

浄土真宗の宗祖親鸞聖人は阿弥陀如来の救いに出遇われた喜びを『遠く宿縁を慶べ』と『はるか過去からのご縁のたまものへの慶び』を表しておられます。阿弥陀如来の救いとは、『私は、あなた方一人ひとりを、そのままに受け止め、決してみはなさない』との願いが、『お念仏』となってはたらき続けていることです。今の私たちが、このお念仏の教えに出遇うことができたのは、850年前の聖人のご誕生があつてのことであり、そして800年前に、その教えを明らかにしてくださったからにほかなりません。私たちは、その800年にわたる長い伝統と歴史の一

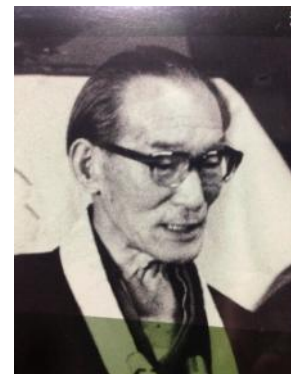
(4ページへつづく)

今月のことば

我一人に成就したのが
信心である
如来の願心が
われひとり
しようじゆ

安田理深

一九〇〇年～一九八二年



“The entrusting heart
is the realisation of
the Tathagata's Wish
and aspiration”

“By Rev Rijin Yasuda
(1900-1982)”



真宗教団連合刊
「2021 令和3年 法語力レンダー」より

連ねていることの慶びをかみしめねばなりません。そして、ともに阿弥陀如来に願われ、阿弥陀如来のお慈悲に包み込まれて、お念仏としてはたき続けてくださっていることの感謝と慶びの輪を、さらに広めていきたいものです。



ロゴマークの策定意図

親鸞聖人の命の灯が、人々を救い、教えを広める様子をイメージしてロゴマークが制作されました。親鸞聖人を中心に、手を合わせる人々が一つに集い、共に生きていく姿を、蓮の形で表現されています。

渡部開教使、NSW仏教連盟のオンライン年次総会に参加 2021年6月27日



去る6月27日午後2時より、zoomにて開催されたNSW州仏教連盟の年次総会に渡部開教使が参加し、仏教連盟の1年の活動を振り返り、かつ、シドニー周辺に存在する仏教諸団体の代表者との懇親を深めたことでした。決算、予



算等が承認された後は、5人ほどの小グループに分かれ、各仏教団体が持つ課題についてのグループディスカッションの時間があり、大変有意義な総会となりました。合掌



オーストラリアのお同行の短歌紹介コーナー

海を超え
時空を超えて伝わりし
仏法の偈（うた）親しみし春

By: 秋吉壽和



九、十月の祥月法要

Sep & Oct Shotsuki Memorial Service

Okuyama, Ayako	奥山 綾子 様
Okuyama, Asatomo	奥山 浅友 様
Hayashi, Masao	林 正男 様
Natsume, Emiko	夏目 笑子 様

上記の方々の祥月法要を来る10月17日(順延の可能性有)の午前11時よりお勤め致します。ご家族、或はご縁のございます方はどうぞお参り下さいませ。合掌

ご 懇 念 録

Expression of Dana/Gratitude



この三ヶ月間で、下記の方々より総計 1,960.00ドルのご懇志をご進納いただきました。また、お賽銭として、計3ドルを参拝者より喜捨して頂きました。この浄財は本願寺設立基金へ進納されました。有り難うございました。合掌

In the past 3 month, donations to the amount of 1,960.00 were offered to the Amida Buddha through the Hongwanji Buddhist Mission of Australia. HBMA members and attendants have also deposited \$3.00 in the donation box which also deposited to the Hongwanji Temple of Sydney Building fund. The HBMA acknowledges the donors and would like to express our sincere gratitude to the following for their generous donations:

- * Rev Mark Healsmith — Membership contribution for 6 months
- * Ms Ayako Mitsui Browne — Donations
- * The Anegawa's — Ms Kyoko Anegawa's burial service
- * Mr Norman Fung — Membership contribution
- * Mr Hisakazu Akiyoshi — Donation
- * Japan Club of Sydney — Printing honourarium (July, Aug & Sep)



Thank you very much in Gassho



BULLETIN

Let us plan to attend the 850th Anniversary of Shinran Shonin's birth and the 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching in Kyoto 2023



Nishi Hongwanji in Kyoto Japan

According to Gomonsu-sama's message, there will be another historic event in 2023 in Kyoto, celebrating 850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth and the 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching. Therefore,

we should plan to have our group tour from Australia to Japan and together we celebrate the joyful day when Shinran Shonin was born into this world. This is the once in a lifetime occasion, so we should not miss this event.

Please let HBMA office know your interest of joining to this group tour to Japan. Hope we can make a good size of tour group from Australia. In Gassho,

- Slogan of this Joint Celebration -

"Life of Nembutsu enables us to appreciate every encounter"

Explanation of the slogan

Shinran Shonin, the Jodo Shinshu founder, expresses his joy of encountering Amida Buddha's wish of saving every living being as, "rejoice at the conditions from the distant past that have brought it about." Amida Buddha pledges in the Primal Vow that "I accept every one of you just as you are, and never abandon you," and the Buddha's salvific working reaches each one of us in the form of the Buddha's Name, *Namo Amida Butsu*. Our appreciative recitation of the Name that constantly calls out to us is described as *nembutsu*. Therefore, the 'Life of Nembutsu' signifies the way of living that enables us to always be consciously aware of Amida Buddha's compassion in our daily lives. Shinran Shonin is the one who clarified that every one of us is the object of the Buddha's Vow and recipient of its benevolence.

Without Shinran Shonin, we would not be able to understand the Buddha's true intent. Therefore, it is only natural that we celebrate his birth, as well as his clarification of the teaching through writings, and 2023 is considered as the year that marks the 850th anniversary of his birth and 800th anniversary of his establishment of the teaching.

In that significant year, we would like to renew our appreciation for being already included in the tradition that has been cherished by our forebears for many years. Furthermore, considering Amida Buddha's compassion that always embraces us and manifests itself as our own nembutsu, we are overwhelmed by joy and gratitude for encountering the teaching that does not exclude anyone and naturally wish to share it with others.

Significance of the logo



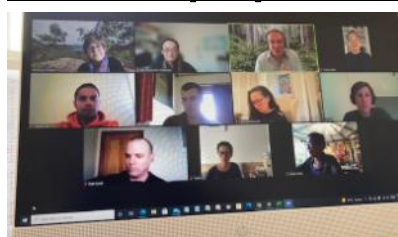
The logo represents the light of lamp that symbolizes Shinran Shonin's life. The light reaches many people, saving them, and in turn the teaching is then shared by many others. The logo is also a stylized lotus flower as well as people sitting around Shinran Shonin who all place their palms together.



REV WATANABE PARTICIPATED IN A 40 HOURS SEMINAR FOR THE CLINICAL PASTORAL EDUCATION (CPE) PROGRAM ORGANISED BY BUDDHIST COUNCIL OF NSW AND THE MENTAL HEALTH CPE CENTRE



(Top) Trainer: Ms Nicola Le Couteur
(Bottom) With other participants (20/8/21)



As requested by the Buddhist Council of NSW Chaplain's department, Rev Watanabe took a 40 hours introductory Clinical Pastoral Education (CPE) program which was organised by both BCNSW and the Mental Health CPE Centre, and completed it at the end of August.

Rev Watanabe learned more useful skills for when he visits hospitals and nursing homes as a chaplain.

During the seminar, he learned how to meet, talk and react to a patient imagining some possibly happening real situations and exchanging everyone's thoughts. Each participant also had to take turn and present leading a meditation session and a "verbatim" which is a written conversation story based on each participants' experience, including outcome, evaluation, spiritual reflection and group reflections, etc. Volunteer chaplains are still unable to visit patients in hospitals but we all hope that restrictions will be lifted soon and everyone can visit hospitals. In Gassho,

world will be in vain. This cannot succeed when we're cut off from the nourishing sacred truths bequeathed to us by so many masters of our school over the centuries.

We should, without question, clarify how Shinran's outlook is meaningful to us today but we must do so while remaining faithful to the insights of our tradition. Otherwise, we'll make the teachings of Jōdo Shinshū mean whatever we want them to, in keeping with the fickle ideological fashions of our times. Inevitably, this leads to doctrinal distortions and a betrayal of the founders' objectives.

We often read back into the sutras and commentaries of the past our own contemporary biases, in the belief that we're somehow advancing our understanding through interpretations we think are modern and 'sophisticated'. However, if the spiritual intentions of Shinran and his successors haven't been properly grasped, then we'll gain little benefit from studying them. Therefore, there's a pressing need to *acquire the mind of Shinran* and put him front-and-center of our dharma outreach efforts—without, of course, sacrificing critical thinking and scholarly accuracy in our translations and studies.

Before we embark on sharing the teaching with others, we need to ask ourselves: Have we really come to grips with what Shinran is saying? Are we confident that we've understood him correctly? His thinking can, at times, be elusive and subtle so we need to consult reliable teachers and good dharma friends. Most importantly, though, we must recall our true end: the peace, certainty and self-knowledge that are given when our lives are touched by the presence of Amida Buddha, which is never away from us.

The many difficulties we face today have become especially acute in the political, social and educational domains. Conflict, violence and division have reached boiling point in many parts of the world without the prospect of any peaceful resolutions emerging on the horizon. Everywhere we turn, we find that fiery passions, having first seized our hearts, are then stoked incessantly by others (including political demagogues and the media).

During these times of momentous upheaval, we need to draw sustenance from the wellspring of immeasurable light and life that lies at the heart of our tradition. Only when we take refuge in that which is 'true and real' can we receive the unfailing wisdom that cuts through the toxic 'lies and

gibberish' all around us, of which the *Tannishō* speaks so vividly.

While Shinran boldly revealed the confronting reality of our unenlightened lives, we mustn't forget that what's intrinsic to his message is the spiritual joy that comes with an abiding true faith, understood as the arising of Amida's mind within us (not something that we generate). This joy cannot be granted or taken away by this world of uncertainty. In our everyday struggles to secure happiness and well-being, a life of *nembutsu* can bring great comfort in the awareness that we're enveloped by the unconditional benevolence of the Primal Vow—precisely in the flawed and broken condition we find ourselves. This allows us to effortlessly partake of the Buddha's nature which dispels our self-induced darkness and gives us freedom to live beyond the oppressive confines of our false self.

In the following parts of this essay, we'll consider the key features of Jōdo Shinshū that make it a unique and compelling spiritual vision—one that is open to all who thirst for the wonderfully liberating transformation it offers.

In Gassho,

- continues to Part 2 -

Rev Watanabe attended online Zoom AGM of the Buddhist Council of New South Wales on Sunday 27 July 2021



Representatives from each Buddhist temple/group participated in the AGM. (27/07/21).



On Sunday 27 July, Rev Watanabe participated in an online meeting for the BCNSW AGM. Past year's activities and financial report was presented then new program and this year's budget were all approved. We



Subcommittees were also held by different topics (27/07/21).

also had a session to share our thoughts and discuss how we as Buddhists should act for the benefit of the general public during this Covid-19 Pandemic period. In Gassho,



2021 SPRING O-HIGAN



We have been struggling with cold weather so far but finally spring is here! Which means, we are going to enjoy the most comfortable time of the year and we could observe O-Higan service during the week from 20 to 26 September.

Unfortunately, we can't have a face-to-face service at the moment but you may contact HBMA to arrange a private O-Higan service, or you may have your personal service at home.

As the sun sets into the Golden West where Amida Buddha's Pure Land is, during the equinox period, we



Rev Watanabe

commemorate those who were reborn into Amida's Land during O-Higan week and show our appreciation to Amida Buddha.

In Gassho,



Sun set

WHY SHIN BUDDHISM? (Part One)

John Paraskevopoulos

Jōdo Shinshū is not a religion of goodness but a religion of truth.

Gesshō Sasaki (1875-1926)

This is a question I am asked frequently. Seeing as we find, among humanity's religions, so many options available to people in the modern world, why should we take any notice of Shinran's teachings? How do the insights of a Buddhist thinker from medieval Japan speak to us today? Indeed, the great number of religious perspectives available now—all making widely different claims—have led some to believe that none of them can be true. This conclusion, sadly, makes many seekers abandon the spiritual quest altogether. Can we find a way around this predicament?



Rev John Paraskevopoulos



BULLETIN

It's hard to contend that a certain belief system is authentic just because we happen to have been born into it. Of course, being culturally comfortable in one's own tradition is important but that alone is not enough to ensure that its claims against other faiths will always be valid. Therefore, we need robust criteria to help us find a path that fulfills our deepest spiritual needs while giving us the discernment to make sense of the world.



Shinran Shonin
1173-1262

In this four-part series of short essays, we'll explore the value of Jōdo Shinshū in light of the major questions that weigh on the minds of many when they reflect on our perplexing existence. In today's world, religions face serious challenges from an array of secular forces: materialism, relativism, hedonism, individualism and consumerism. As a result of these seductive, powerful influences in our society, there is now much greater confusion about matters of faith than ever before, with many of us having become more sceptical and uncertain in our convictions.

In such a fraught climate, Jōdo Shinshū has a great deal to offer humanity today just as it did eight hundred years ago. While the lives of people in Shinran's times might seem remote from ours, they were, fundamentally, much the same because the facts of the human condition have not changed. I also believe that Shinran, while remaining a steadfast Buddhist, had some profoundly original things to say; in particular, he revolutionised the nature of spiritual practice by teaching a bold vision of ultimate reality and how awakening to it can greatly benefit our lives. There is a universal quality to his thought that can touch us deeply if we approach it with honesty, sincerity and a hunger for the truth.

Before going any further, it's important to remember that notions such as orthodoxy ('correct understanding') and tradition ('that which is handed down') actually matter. These may seem antiquated and old-fashioned because they're not in keeping with our fast-paced world where ideas and values are constantly changing. But this is precisely the problem. When we lack an anchor in the depths of our spiritual heritage, our efforts to make Shinran's teaching relevant to the modern

(Continues on page 3)

BULLETIN

Volume 22 - No. 5
17 September, 2021

Hongwanji Buddhist Mission of Australia



PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Mob : 0412 - 396 - 014
Email : hbma@optusnet.com.au
<http://www.hongwanji.com.au>

HBMA relocated to Artarmon



We wish to announce that the HBMA's office, including our shrine and minister's residence is relocated to Artarmon, as the previous HBMA's premises lease period came to end.



New HBMA in Artarmon

The new home for the HBMA's Amida Buddha is now in Artarmon - very close to the City Rail train station. The east side of the station is well known "Little Japanese town", so, after you attend the service, you may enjoy shopping Japanese groceries or take-away food at Anegawa, Lucky Mart, Sushi Taro, Robata Jones, Ramen Genki. (Hope we can eat-in soon!)

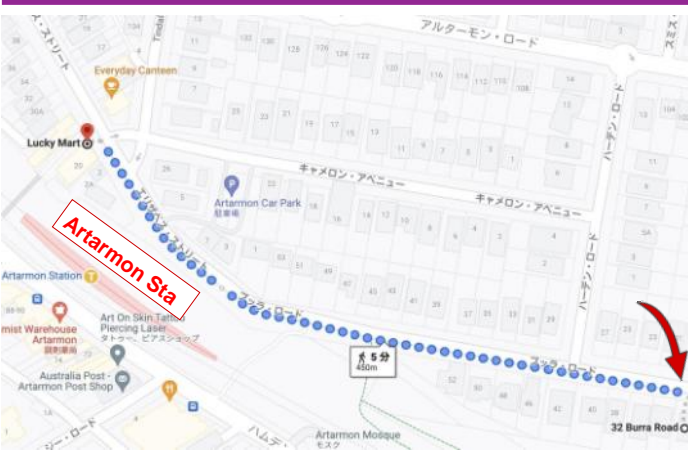


HBMA's Buddhist

As NSW government is announcing that after 70% of the people in NSW took 2 doses of the Covid-19 vaccinations, they will be loosening the regulation, we are all hoping to start observing our regular Sunday services at this new location by the end of October.

In the meanwhile, if anyone need private online services, it could be arranged. Please contact Rev Watanabe.

In Gassho,



New address of the HBMA is now is 32 Burra Rd Artarmon NSW 2064, we still use PO Box of Lindfield for the mailing address.

Inside This Issue

HBMA relocated to ARTARMON	1
2021 Run for Peace & Future of HBMA	1
Spring O-Higan 2021	2
Dharma message by John Paraskevopoulos	2-3
News - BCNSW Annual General Meeting	3
Shinran Shonin's 850th Anniv, CPE 40 hours course	4

Run for PEACE 2021



2021 Run for Peace & Run for the Future of HBMA

Sydney Running Festival will be held by virtual !

19 September ~ 17 October 2021

● Rev Watanabe is once again planning to join the Sydney Running Festival and run 42.195km **for WORLD PEACE and also for the FUTURE OF HONGWANJI BUDDHIST MISSION OF AUSTRALIA.**

● The date of the event was first set on 19 September, but now this event once again became virtual and anyone can join by just registering to the site. Runners can run between 19 September to 17 October.

● If you could kindly donate for this event to support Reverend's Run, please make a donation to the following account.

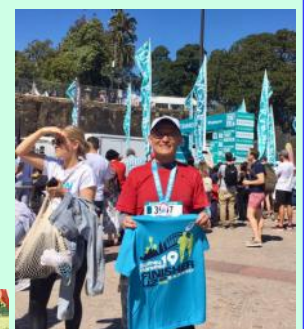
BANK INFORMATION(WESTPAC NEUTRAL BAY BRANCH)

ACCOUNT NAME : HONGWANJI BUDDHIST MISSION OF AUSTRALIA

BSB : 032 197

ACCOUNT No : 48 1501

DESCRIPTION : PEACE RUN



BLACKMORES